

／ 輝く！葉山の中学生 ／

特集
1

職場体験で見つけた 新しい私たち

11月下旬に葉山中学校・南郷中学校の2年生が飲食店やお菓子販売店、スーパーなどで職場体験をしてきました。葉山で働くことを通し、気づいた自分のこと、町のことなど語ってもらいます。今回ご協力いただいたのは、魚佐・マーロウ・ユニオンです。

体験は、自信につながる

南郷中学校 2年 津田 卓磨さん

野上 竜聖さん
林 卓未さん

◎2日間の体験を終えての感想は？

野上「みんな運動部だから体力には自信があったけど、食器がどんどん来るので休む暇もないし、立ちっぱなしでずっと疲れました。腰が痛い。」
津田「メニューの名前や値段を一生懸命覚えたはずなのに、いざお客さんの目の前に立つと緊張して忘れてしまうことがたくさんありました。でもお客さんから「ありがとう」って感謝されたり、言葉はなくても美味しく満足の顔をして帰るのを見たりすると嬉しかったです。常連の人たちの優しさも感じました。」
林「お茶が少なくなっているお客さんにお茶をついだ時、気配りを褒められた。教えてもらってやったことではないけど、自分にもそんなことができるのかと自信に思えました。それと野球をやっているのだから、あいつらの声だしが活きたかな。」
野上「来年職場体験する後輩には、あいさつや元気の返事を当たり前のようにはやってみよう。あと職場の人へどんどん話しかけること。わからないことをそのままにしておき、あとで恥ずかしい思いをしました。わ

からなければしっかりと聞く。休憩中も魚の名前を覚えてもらったり、色々な話を聞かせてくれたり、楽しい職場で良かったです。」

◎お互いを評価すると？

津田「いつも面白いことをして笑わせてくれる存在だった友達が、この二日間はまるで違う人のように思えた。野上くんは食器洗いは、どんどんスピードが上がっていったので、負けないように僕も接客を頑張ろうと思えました。」

林「1日目はわからないことだらけで、すごく早く過ぎていったけど、2日目は1日の流れもお客さんの混雑する時間帯も大体予想がつく。自分が何をやるべきかを考え、わからなければ周りの人や友人に相談しながら実行できました。」

◎お店の人から一言

「毎年体験を受け入れていますが、今年も一生懸命で真面目。いらっしやいませ、と言うことに抵抗がある子もいるけど、きちんとできていましたね。覚えも早いし、今後の成長に期待ができます。まかない作りで包丁を握ったり、食器を洗ったりと経験がなかったかもしれないけど、上手にやってくれたと思います。おうちの人のお手伝いにも活きるね。」



▲みんなの姿を見て、自分も頑張れたという津田さん



▲大きな声で返事をする林さんは、タコを相手に奮闘中



▲この二日間で、食器洗いが上達したという野上さん

『人のため』という姿勢

葉山中学校 2年 小河原美波さん

高山あさひさん

◎なぜこの業種を選びましたか？

高山「接客の仕事を選んだ理由は、将来働く時に役立つと思っただから。お客さんと自分との関係がどんなものなのだろうか、そんな仕事で大切になってくると思いました。」

小河原「私も将来人のためになる仕事に就きたい。どんな形かはまだわからないけれど、『人のため』という点で今回の体験は役立つと思います。」

◎仕事への印象は変わりましたか？

高山「料理や飲み物を運んだり、テーブルセッティングや食器洗いをしています。初日なのでまだ緊張しています。お客さんがお店に入ってきた時に明るく「いらっしゃいませ」などと接することを心がけていますが、最初はうまくできなかった。何度か忙しい時間帯を体験して、やっと慣れたように思います。」

小河原「食品の製造に興味があったがこの職種を希望しましたが、裏側を見るととても大変そ



▲高山さんは、お客さんへ明るくあいさつすることを心がけたそう



▲商品を取り出して箱に詰めることを教わっている小河原さん

う。お店の人の話だと「お客様のために最大限できることを探すことは大変だけど、同時にやりがいにつながる」と言っていたので、今までよりもっと興味を持ちました。私もやりがいを感じる仕事を見つけないな。」

二人「緊張しているけど、お店の人もお客さんも優しいので良かった。明日も精一杯頑張りたいです。」

失敗から得たものとは

葉山中学校 2年 飯塚涼太郎さん

西元 凌さん

◎どんな体験をしましたか？

西元「商品の補充、前出し、清掃など。商品を前に出す作業に集中していると、お客さんにあいさつすることを忘れてしまったことが残念です。この失敗をふまえて、アルバイトや就職した機会に役立てたい。」

飯塚「笑顔で働くことを心がけていたけれど、やっぱり忙しくなると余裕がなくて笑顔が少なかったことが反省点です。」

◎仕事をして感じたことは？

西元「職場体験をするにあたって、履歴書を書いたけれどその経験も初めてなので面白かった。履歴書には『将来、人の役に立つことがしたい』と書いたけれど、二日間を通して働くこととイコール人の役に立つことなんだな、と感じました。」

飯塚「先生からもあいさつをきちんとするよう言われていて、それができたと思う。普段利用しているスーパリーの裏側が少し見られたことも感動しました。」

西元「二日間だったので、完璧



▲西元さんは履歴書の長所に書いたとおり積極的に動けたとのこと



▲真剣な顔つきで商品を前に出す作業に取り組む飯塚さん

だったとは思えないけれど、商品の場所を探しているお客さんを案内して『ありがとう』と感謝の言葉をもらった時は、やっぱり嬉しくなりました。」

飯塚「飲み物の陳列の向きを間違えてしまったり、お客さんに聞かれた場所を上手に伝えられなかったり失敗もあったけれど、最後には何事も丁寧な気持ちでするように心がけることを学びました。」

特集
2

／ 輝く！葉山の中学生 ／
非核平和を考える

葉山町では、町議会が昭和58年3月22日に、町が平成4年11月1日に、非核平和都市宣言をしています。町の中学生を対象に、「非核平和」をテーマとした標語コンクールを開催しました。



今回で12回目となる標語コンクールですが、今年は15人から28点の作品の応募がありました。10月25日に開催された選考委員会で厳正に審査した結果選ばれた作品は次ページ上に掲載しています。

表彰状授与のため集まっていただけ皆さんに、標語を作るにあたって感じたことなどを伺いました。

入江「東日本大震災や原発問題、原子力空母の存在も日ごろから耳に聞いていて、今回の標語はとにかく応募してみようと思いました。その結果、受賞できて嬉しいです。」

鈴木「私は葉山出身ではないのですが、引越越しをしてきて、海と山がある景色、空気のおいしさ、そして平和な町であることをすごく感じています。」

他にも勉強のこと、部活のことなど中学生活で感じていることを町長に話しました。

1・2年生の人は次回は次回の応募もお



▲葉山中学校の受賞者の皆さん

待ちしています。皆さんも、非核平和に関することを家族や友人たちと話し合い、標語を作ってみませんか。



▲南郷中学校の受賞者の皆さん

★平和市長会議への加盟



葉山町では更なる平和を願い、平成24年10月1日、平和市長会議に加盟しました。平和市長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことにより、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、核兵器廃絶を実現させるとともに、人類の共存を脅かす飢餓、貧困、難民、人権などの諸問題の解決を目的としています。（詳しくは平和市長会議のホームページへ）

平成24年度 非核平和標語コンクール 受賞作品

金賞

手をつなぎ 平和の鐘を 鳴らそうよ

入江 広基 (葉山中学校3年生)

銀賞

将来の 辞書からなくそう 核兵器

北原 沙紀 (南郷中学校2年生)

銅賞

小さくて 消え入りそうな 君の声 一番大事な 君の声

佐藤 しずく (葉山中学校3年生)

佳作 (作者50音順)

手放そう核 それで落ち着く 世界の心

阿部 大河 (葉山中学校2年生)

つなげよう 明日の未来に 平和の手

佐藤 しおん (葉山中学校1年生)

非核化が 輝く未来を 創りだす

鈴木 真優子 (南郷中学校3年生)

測定器必要ない 深呼吸のできる地球をとり戻そう

中竹 葉子 (葉山中学校2年生)

仲なおり 小さな小さな 平和のつ

村山 央典 (葉山中学校2年生)

2月4日から戸別収集（ごみを各家庭の前で収集）の先行地域を元町たかさご・向原・森戸町内会の地域へ拡大します



資源を大切に、環境への負荷を低減した社会を目指し、葉山町ではごみの資源化・減量化に取り組んでいます。ごみの減量を推進することは町の大きな課題です。

町ではすでにごみの減量推進の一環として一部地域（牛ヶ谷戸、一色台町内会の地域）での戸別収集を先行実施しています。戸別収集のメリットは各個人でごみを分別する意識が高まりごみの減量につながることです。こうしたことから町では、

全町戸別収集化するための準備を進めていますが、このたび戸別収集体制を検証する目的で先行地域を拡大します。拡大地域に住む人には12月ごろよりチラシ等を戸別に配布していますので、ご確認ください。説明会の日程は下の表をご覧ください。その他の地域については従来どおりの収集をしますので、お間違えのないようお願いします。

問合せ クリーンセンター
☎875-1153

場 所	日 時 (説明会は2時間前後を予定しています)
堀内会館	1月16日(水)19時、21日(月)14時、22日(火)19時、26日(土)10時・14時
図書館	17日(木)10時・14時、20日(日)10時・14時、23日(水)10時、25日(金)14時、27日(日)10時・14時